

「する・みる・支える・知る」スポーツ教育
「ネオホッケー体験」を開催します



ターゲット 4.1

令和4年11月25日
郡山市文化スポーツ部
スポーツ振興課
課長 郡司 兼介
TEL：924-3441

SDGs ターゲット 4.1 「質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする」

東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業「する・みる・支える・知る」スポーツ教育を宮城小学校で行います。

今回は、郡山市フロアボール協会から講師をお招きして、「ネオホッケー」を体験する授業を行います。

1 日 時 11月30日(水) 11時00分～12時00分(授業開始11時00分)

2 会 場 宮城小学校 体育館

3 参加者 全校生 32名

4 講 師 郡山市フロアボール協会

渡辺 章(わたなべ あきら)氏、国分 義之(こくぶん よしゆき)氏

別府 俊治(べっふ としはる)氏、伊勢真理子(いせ まりこ)氏

坂本 夕子(さかもと ゆうこ)氏、二瓶かおり(にへい かおり)氏

<ネオホッケー>

スティックを使ってプラスチック製のボールを相手チームのゴールに入れて得点を競い合うスウェーデン発祥の競技です。日本の施設環境等に合わせて改良され、これまで「ユニホック」「ユニバーサルホッケー」として普及が進みましたが、2012年の日本フロアボール連盟の発足を機に名称が「ネオホッケー」となりました。

<「する・みる・支える・知る」スポーツ教育>

東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業として、小・中学生のスポーツとの多様な関わり方(する・みる・支える・知る活動)を支援し、生涯にわたって心身の健康を維持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目的としています。

市内の希望する小・中学校(15校程度)を対象に講師派遣を予定しており、今回は11校目の実施となります。